

平成19年3月中間期 会社説明資料

平成19年6月



日本ジャンボ株式会社

(J A S D A Q ・ 9 6 7 7)

平成19年3月現在

商号 日本ジャンボ株式会社

本社 静岡県熱海市泉山下27番1

代表者 代表取締役社長 村松 潔

設立 設立・昭和35年12月3日

資本金 4,271百万円

売上高 24,982百万円（平成18年9月期連結実績）

従業員 205名（平成19年3月末）

昭和35年12月	日本ジャンボ(株) (静岡県熱海市伊豆山仲道463番の4) 設立
昭和39年11月	湯河原総合現像所 (神奈川県足柄下郡湯河原町) 開設
昭和50年4月	現像所向け用品の開発・販売を目的とし、エフエル(株)神奈川県足柄下郡湯河原町) 開設
昭和53年10月	湯河原総合現像所改築
昭和57年2月	現像所向け料金計算システムの開発・販売を行うため、子会社日本システム(株) (静岡県熱海市) を設立
昭和63年9月	本社社屋 (静岡県熱海市) 新設。同時に泉事業所を併設し、日本初のマキシラボシステムを設置
平成元年12月	本社移転 (静岡県熱海市泉)。[現在地]
平成6年7月	大阪地区のカラー写真処理増大に対処するため、大阪府摂津市に新大阪現像所を設置
平成6年11月	九州に拠点を持つ(株)ミヨシの発行済株式の全てを取得し、当社の子会社となる
平成9年2月	今後の事業の拡大のために、温泉施設を経営する万葉倶楽部を設立
平成12年4月	(株)エス・ビー・エムが株式交換により、当社の完全子会社となる
平成15年10月	子会社(株)エス・ビー・エムと合併
平成16年1月	ビル管理部門を100%子会社(株)エス・ビー・エムとして分社

当社グループは、当社及び子会社9社、その他の関係会社1社で構成され、事業はD.P.E.（写真の現像・焼付・引伸しサービス）及びフィルム、写真用品等の販売（総合写真事業）を主に行っているほか温泉施設の経営（温泉事業）等を営んでおります。

平成19年3月中間期 決算概要

Jumbo

日本ジャンボ株式会社

(JASDAQ・9677)

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の堅調に支えられて順調な拡大軌道を辿り、景気の拡大は内需へと徐々にその裾野を広げ、息の長い緩やかな回復を続けました。しかし、一般の消費動向は、原油をはじめとする原材料の高騰、社会保障費負担等で低迷と言わざるを得ない環境であり、一般消費者の消費を拡大するものとなっていない状況で推移いたしました。このような中、当写真業界におきましては、デジタルサービス領域の拡充が急務となっております。今後もより一層デジタルカメラに関連した新しいアウトプット手法としての付加価値の商品の開発と拡大が今後も重要となっております。当ラボ業界におきましては一層厳しい環境となっております。また、温泉事業においては相次ぐ温泉施設の開業により市場の拡大から飽和状態に移行しつつあります。施設の充実やサービスの向上による差別化を図って顧客ニーズに対応するサービスの提供に努め、付加価値の高い施設が必要となっております。また、その他事業におきましては長期に亘り保有しておりました販売用不動産を販売したことにより、大幅に売上が増加しました。なお、当中間連結会計期間において、総合写真生産事業所、賃貸借不動産及び遊休資産につき減損損失5億6千6百万円を計上しました。この結果、売上高は前中間連結会計期間比4.4%増の143億7千5百万円、経常利益は前中間連結会計期間比69.8%増の29億1千4百万円、中間純利益は前中間連結会計期間比47.7%増の10億5千9百万円となりました。

損益計算書（連結）

日本ジャンボ株式会社

(単位：百万円)	18年3月中間期	19年3月中間期	前期比
売上高	13,763	14,375	104.4%
売上原価	8,805	8,656	98.3%
販売費及び一般管理費	3,199	2,765	86.4%
営業利益	1,758	2,952	167.9%
営業外収益	188	195	103.7%
営業外費用	231	233	100.9%
経常利益	1,715	2,914	169.9%
特別利益	132	54	40.9%
特別損失	806	706	87.6%
中間純利益	717	1,059	147.7%

貸借対照表（連結）

日本ジャンボ株式会社

（単位：百万円）

	18年3月中間期	19年3月中間期	増減
流動資産	10,166	8,554	△ 1,612
固定資産	28,231	27,984	△ 247
繰延資産	8	—	—
資産合計	38,406	36,539	△ 1,867
流動負債	7,125	7,049	△ 76
固定負債	15,557	12,676	△ 2,881
負債合計	22,683	19,726	△ 2,957
（少数株主持分）	401	—	—
資本金	4,271	—	—
資本剰余金	4,797	—	—
利益剰余金	6,252	—	—
その他有価証券評価差額金	75	—	—
自己株式	△ 32	—	—
資本合計	15,321	—	—
負債、少数株主持分及び資本合計	38,406	—	—
資本金	—	4,271	
資本剰余金	—	4,797	
利益剰余金	—	7,680	
自己株式	—	△ 363	
株主資本合計	—	16,386	
評価・換算差額等合計	—	△ 43	
少数株主持分	—	469	
純資産合計	—	16,812	
負債純資産合計	—	36,539	

キャッシュ・フロー計算書(連結)

日本ジャンボ株式会社

(単位：百万円)	18年3月中間期	19年3月中間期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	3,039	2,644	△ 395	税金等調整前中間純利益2263百万円、減価償却費617百万円、減損損失566百万円、売上債権の減少223百万円、たな卸資産の減少684百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 796	△ 250	546	有形固定資産の取得による支出384百万円、投資有価証券の取得による支出274百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	312	△ 1,539	△ 1,851	長期借入金の返済による支出936百万円、自己株式の取得による支出330百万円
現金及び現金同等物の 増加額	2,555	855	△ 1,700	
現金及び現金同等物の 期首残高	2,680	4,924	2,244	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	5,236	5,779	543	

(単位：百万円)

セグメント	18年3月中間期		19年3月中間期		比較増減	
	営業収入	構成比	営業収入	構成比	増減額	増減率
総合写真事業	7,825	56.8%	6,245	43.4%	△ 1,580	△ 20.2%
温泉事業	5,585	40.6%	5,678	39.5%	93	1.7%
その他事業	359	2.6%	2,457	17.1%	2,098	584.4%
合計	13,771	100.0%	14,382	100.0%	611	4.4%

総合写真事業 写真の現像、撮影、販売、フィルム等写真用品の販売、写真の感光材料の販売。

温泉事業 温泉施設の経営。

その他事業 不動産の販売、ビル管理等。

平成19年9月期 業績予想



日本ジャンボ株式会社

(J A S D A Q ・ 9 6 7 7)

（単位：百万円）	18年9月期	19年9月期予想	対前期増減率
売上高	24,982	24,637	-1.4%
営業利益	2,752	3,402	23.6%
経常利益	2,696	3,498	29.5%
当期純利益	1,276	1,967	54.2%
EPS（円）	173.17	266.98	-
ROE	8.4%	12.0%	-

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 自己資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

経営方針

当社の企業集団は、D.P.E.及びフィルム、写真用品等の販売を主に行っている総合写真事業と温泉施設の経営等を営んでおります。総合写真事業におきましては、「よりよい品をより安く」「取次店との共存共栄」「写真の真の姿の追求」の3つの精神を経営理念としております。会社設立時からの営業戦略として、それまでの業界通念を打破して、写真専門店の店頭のみで行っていたD.P.E.の処理サービスを業種、業態の壁を取り払い写真と全く関係のない写真取扱いチェーン店を開設して、写真業界の流通サービス業務に革命的なシステムを導入し、また、カラープリントの低価格戦略面でも業界のプライスリーダーとして積極的に対応しております。また、温泉事業におきましては、極上の温泉だけが約束できるリラクゼーションライフをお客様に堪能していただくことを経営理念としております。いずれの事業におきましてもお客様のニーズをすばやく的確にとらえ事業に反映させてまいります。

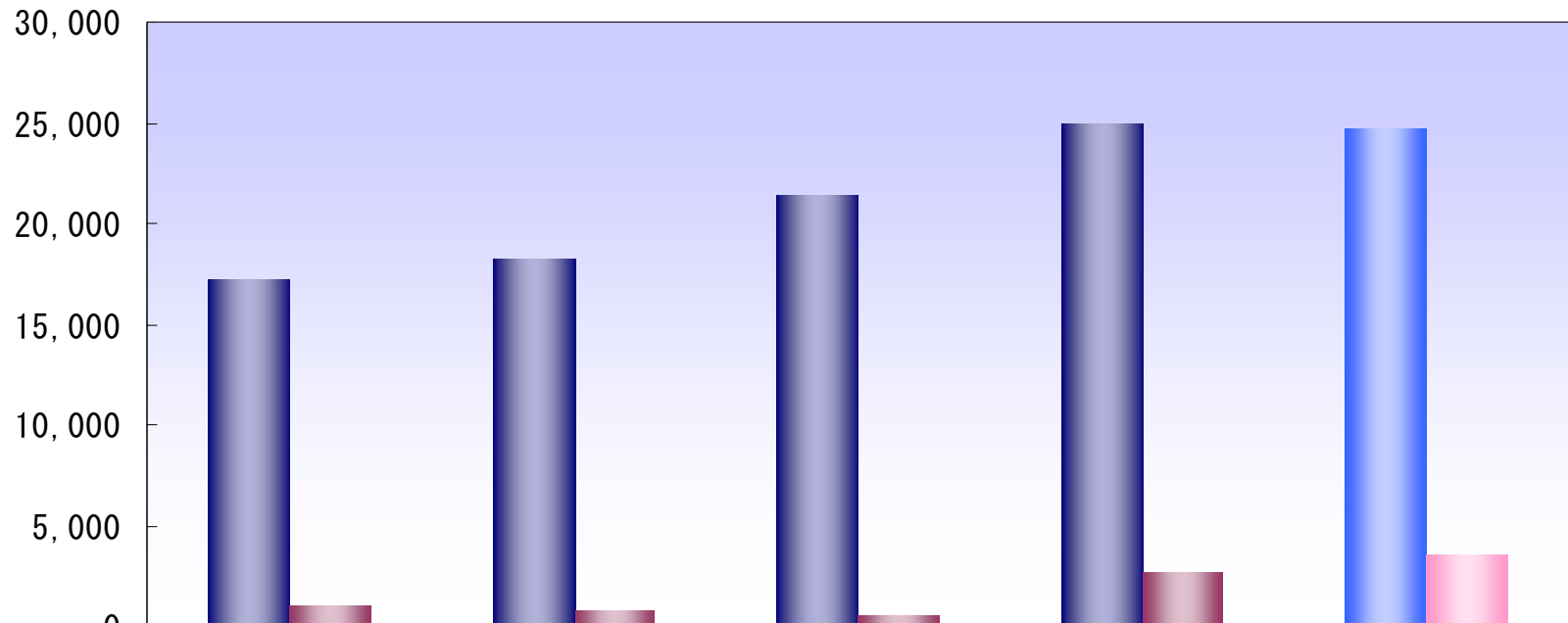
今期の取り組み

「中期経営計画（平成18年10月期～平成20年9月期）」では、『果敢なチャレンジ』を基本方針に掲げ、総合写真事業においてはデジタル移行へのユーザーニーズを捉えた高付加価値商品との開発提案型企业として、温泉事業においては質が高く信頼のおけるサービスの提供と施設の充実によるリラクゼーション創造企業として、社会的存在価値の向上に取り組んでおります。グループ各社は計画期間中にシナジー効果など、効率的な事業展開を推進し、一人当たりの生産性向上と利益の絶対額の増加を図ってまいります。また、事業活動への寄与が期待できない資産等は見直し、収益構造を一層強固にし、経営体質の強化を目指しております。

売上高・経常利益の推移（連結）

日本ジャンボー株式会社

（百万円）

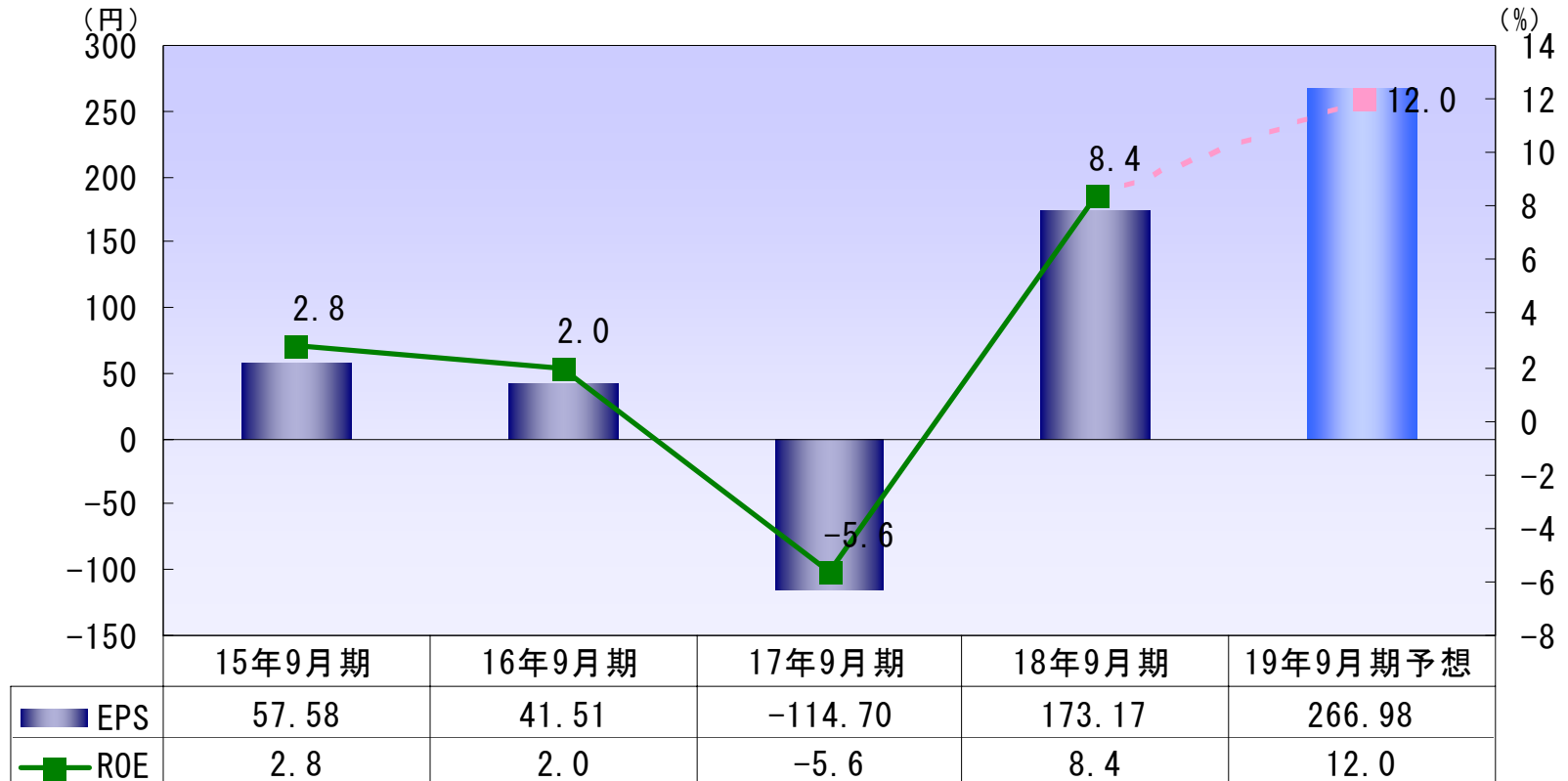


	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期	19年9月期予想
■ 売上高	17,164	18,187	21,381	24,982	24,637
■ 経常利益	1,043	804	547	2,696	3,498

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

EPS・ROEの推移（連結）

日本ジャンボ株式会社



EPS=1株当たり当期純利益

ROE=自己資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。



日本ジャンボ株式会社

管理本部

TEL : 0465-60-2500

E-mail : info@mail.jumbo.co.jp